

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 ぴーす

常勤職員2名、非常勤職員7名、計9名より実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			受け入れる児童の特性や支援・ケア必要度(量)に応じてのスペースの調整を考え運営しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	9			法令遵守し、適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			エレベータ設置。不審者防止・児童飛び出しを防ぐため入口ドアのWロック錠鍵設置。トイレは車いすの方も入れるスペース・手すりを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			毎日、職員、アシスタントと話し合いを実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			引き続き実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			評価表回収後にHPにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	3		法人としては第三者委員による評価を行なっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			非常勤職員の方も研修への積極的参加を推進しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			ケース会議、毎日のミーティングで、児童・保護者のニーズや課題の共有をしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			毎日のミーティングで意見を出し合い話されています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			児童の特性によって、固定化している部分もありますが、内容を変え変化を持たしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			長期休暇での外出(お散歩・ドライブ等)を設定し、平日時とは違った様々な経験を積めるように努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		児童のその日の状況・状態に合わせて行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			毎日ミーティングで、前日の児童の様子、現在の課題等を情報共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			気になることや伝達事項は、退社前に報告しあっている。細かな振り返りは、翌日のミーティングで行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			保護者との連絡帳での日々の記録や業務日誌・ミーティング記録簿等でも毎日記録しています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	1		支援プログラムの策定を通して、周知・支援して参ります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		児童との関わりの深い担当者が実施しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9			保護者・学校ときめ細かい連絡、連携を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				実施予定がありません。割愛しました。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				事例無し。高学年が多いためと考えられます。割愛しました。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9			支援会議等を通じて引き継ぎを実施しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3		管理者が連携して助言を受けている。必要に応じて連携している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				実施予定がありません。割愛しました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	5		法人代表の参加する会議はあるが、現場職員が参加できる機会が少ないため、今後検討したい内容です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			連絡帳・送迎時に直接お話を実施しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9			保護者様のご意向に応じて実施しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時に実施しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			複雑な相談内容は、管理者の指示を仰ぎ支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				保護者会を組織する予定がありません。割愛しました。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			苦情受付担当者及び責任者を置き、苦情や申し入れがあれば迅速かつ適切に対応できる体制にしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			法人HP・ひこうせん通信で発信しています。事業所の活動は掲載していません。個人情報保護も関係しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	9			個人情報の取り扱いについては、同意書を得ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			配慮事項の共通理解を徹底しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4		法人として実施しているものもあります。今後、地域住民との合同の非常災害時の避難訓練等を考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			今後も、改めて検討し、周知していきたいと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			非常災害時の学習、避難経路確認等行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			毎年行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			虐待防止・身体拘束適正化研修で全体に周知しています。保護者の方に説明・同意を得ています。事例がある場合は実施します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9			主治医診療情報提供書及び保護者からの聞き取りを基に把握・対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			共有し、未然に防げるよう努めています。